

与謝野町のチームオレンジ 設置に向けた取組について



1か所直営

与謝野町地域包括支援センター
与謝野町認知症地域支援推進員

認知症地域支援推進員
5名（兼務）配置

【認知症地域支援推進員・施策担当で話し合ったこと】

- ▶ チームオレンジ事業の構築が求められているが、特に現在キャラバンメイトとして活動をしていただいている方は事業内容を知らない。まずは事業の内容を知ってもらうことから進めていきたい。
⇒実施の準備として、キャラバンメイトとカフェ運営担当者に向けて、『チームオレンジとは？』の基本を理解してもらう勉強会を企画しよう！
- ▶ 今後行うチームオレンジ研修会（案）について
 - 研修の規模（対象：現メイト+新規養成メイト+カフェ運営担当者向け）
 - 実施内容について

チームオレンジ研修会及びステップアップ講座開催の具体的内容を
R4年度 認知症地域支援推進員を中心に検討していく！

【懸念事項】

- ▶ 設置段階ではエリアや拠点が絞られても、最終的には市町全域で広げていくべきものとされ、後を見据えた準備が必要となる。
- ▶ そのことから、先進地域を参考に、町内の既存資源を活用しながら、無理なく町内で展開できる方法を考えたい。

一方で…

先日受けたオレンジロードつなげ隊 ・ 認知症地域支援推進員合同研修で、グループワーク「本人とともに行う普及啓発の取組を考えてみよう」の中でこんな声が上がった。

(チーム上京！を参考に)

- ▶ 得意なことを募って教室をする
- ▶ 様々な年代との触れ合いの場、少人数で
- ▶ 認知症の方でも介護保険制度を利用するまでもない空白期間に、気軽に利用できるものがあれば…
- ▶ 場所ありきではなく『ともに』活動ができるマッチングのようなその人を中心にしたフリーな活動ができれば…

…等意見が出た。

新たな兆し...

若年性認知症の当事者・家族がなかなか声を上げにくい地域柄だが、最近になってその当事者と家族を支援して下さる**応援者の存在**がある

- ▶ 卓球を通して仲間づくりがしたい
- ▶ これまで活動してきたことを継続できる取組みがしたい
(外出支援・居場所作りなど)

等々…本人を中心とした声が上がっている。



⇒チームオレンジ活動の形はすでに地域にある。

よりよい活動を進めていただくのに、今後はその方を取り巻く支援者（応援者）にサポータ養成とステップアップ研修を受けてもらう方が良いか…

【まとめ】

- ▶ 以上のことから、今後は以下の2本立てで検討していく。
 - ①町全域で広げていくことを見据えて研修会を実施していくこと
 - ②本人を中心とした取組のサポート
- ▶ 認知症の当事者が語られる場は少なく、本心を聞けないまま介護保険など制度の利用に頼ってしまう場面が多い。これまで歩んでこられた人生などその人となりや、当事者の今やりたいことに目を向けて思いを聞けるチームを立ち上げたい。

